

【翻訳】最初の漢語訳断片「マナスの誕生」

西脇隆夫 訳

§ 1. まえがき

この訳文は、羅郁重訳「瑪那斯的誕生—新疆柯爾克孜族人的史詩之一章」（「東方雜誌」第42巻第3号 60～64頁）を訳出したものである。この漢語訳が基いた資料については、羅郁重がそのまえがきで述べている。

キルギス語原文は漢語訳には付けられていないが、以下の資料によって見ることができる。

1. A. T. Hatto, *The Manas of Wilhelm Radloff*, Wiesbaden, 1990.
2. 曼別特編 古老長詩（《瑪納斯》史詩19世紀拉德羅夫搜集本）
克孜勒蘇柯爾克孜文出版社 1997年
3. Z・朱馬西 最早的《瑪納斯》漢訳片段
「語言与翻譯（柯爾克孜文版）」2012年第2期30～39頁

漢語訳に付けられた原注には、英雄叙事詩「マナス」及びキルギス族に対する羅郁重の理解に不十分な点が見られる。

例えば、注（19）の Kongru Bay については、皇帝と訳しているが、実はカルマックの首領アローケの息子の名であることを知らないためと思われる。その他の誤りについて指摘することは省略した。

§ 2. 漢語訳まえがき

この叙事詩の原題は *Manas Doğdugu* であり、キルギス語原文はトルコの学者 *Abudülkadir Inan* 氏の *Türkeoloji* (1936, Istanbul) という著書の第10章79頁から87頁に収められていて、キルギス族の最も有名な英雄叙事詩「マナス」の一章である。この叙事詩はその民族の英雄マナス汗の生涯の事績をほめ讃えている。1862年、ロシアのテュルク学者ラドロフ (Radloff) が苦労して採集したことにより、初めて長さ177,774行に達する英雄叙事詩が世に紹介されたのである。叙事詩全体の内容は、詩句の美しさと描写が感動的だけでなく、中央アジアの学者にもよく知られているため、ヨーロッパの学者はこれをきわめて尊重したのである。したがって発表するのに価値のある論文は多いが、残念なことに我が国の人は翻訳することが少ない。

キルギス人は我が新疆の14民族の一つであるが、その民族、文化、風習の研究について、外国人が代わって行っているのを傍観して自らは不案内ではいられないだろう。訳者はこのことに

鑑みて、特に重訳し、さらに注釈を加えた。誤りを免れないことは知っているが、博雅の君子が、教示していただけるなら幸いである。

§ 3 キルギス語原文

- Jeti tördün bašında
Jetkileng tuuğan Böyön qan
Böyön qandın balası
Qayrattuu tuuğan Qara qan
Qaraqandın balası
Qayrattuu tuuğan Jaqıp qan.
Čungqar uya üstündö
Almatinin oozunda
Jerdep jatqan Jaqıp qan.
- 10 Keče Aydarğandın qızı Čiyirči
Alğan eken Jaqıp qan
《Ušu Čiyirčini alğanı
Men jıttap bala öppödüm
Bu Čiyirči jayğan čačın tarabayt
Qudayğa tooba dep eč bir meni qarabayt.
Belin bekem buubadı
Bul Čiyirči erkek bala tuubadı.
Bu Čiyirči n alğanı
Jayı-qışı on tört jıl
- 20 Bul mazaluu jerge sıdırbayt.
Bul almaluu jerge oonabayt.
Bul araşanduu jerge tünöböyt.
E Quday-taala jar bolso
Čiyirčini qursağına
Erkek bala bar bolso.
Bul belin bekem buudursam.
Bul Čiyirčidan erkek bala tuudursam.
Noqtoluu ötük, kök köpüč
Noyğottu buzup jegendey
- 30 Quş baš eer, kök čapan
Qoqondu buzup jegendey.

- Joor ešek, teşik tam
Sarttı buzup jegendey.
Čiyiri tuqum, qu nayza
Qazaqtı buzup jegendey.
Suğalağın qoyboğon
Surap içip toyboğon
Qırğızdı buzup jegendey》
- 40 Emi belge saadaq buudurdu
Jaqip qan Čiyirčiday qatından
Emi erkek bala tuudurdu.
Emi erkek bala qarasa
Appaq eti čüštödöy
Ustuqan-söögü mistedey.
Aq boz bee soydurdu
Jaqip qan tuuğan balasına.
Tört payğambar qojoğo
Atın 《Manas》 qoydurdu.
Tört payğambar qınadı
- 50 Payğambar balanı sinadı.
Jerkenden kelgen jeti elči
Jentegin miqtap jep ketti
《Manas jelmoğuz čığat》 dep ketti.
Qıtaydan kelgen qızıq elči
Qaynasın miqtap jep ketti
《Manas Qıtaydı qırat》 dep ketti.
Noğoydon kelgen on elči
Olturup etin jep ketti.
《Manas oyron čığat》 dep ketti.
- 60 Bul baybiče Čiyirči
Manastı sir beşikke bölödü
Manastı qıdır jölödü.
Manas qabaq jerden buğuldu
Qapır menen busurman
Manastın qabarı miqtap uğuldu.
Manas emi küülödü
Manas beşikte jatıp süylödü:

- 70 《Aq saqal atake Jaqip qan
Busurman jolun açamın
Qapirdin malın çaçamın
Qapirğa ketet qılamın
Busrman jetet salamın》
Jaqip qan uşu kepti uqqanda
Ala başıl jorğo at
Alip kelip toquttu.
Jaçası altın, jengi jez
Aq kürökö torğoy köz
Altındin şerin japtırğan
Kümüştün şerin töktürgön
- 80 Badanani kiygen song
Bul Jaqip qan çiqirdi:
《Baydin uulu Baqay qan
Beri kelci qaşima
Kep aytamın başıma.
Menin Manas qulunum
Attanamın jortom — deyt
Alısqa sapar baram — deyt.
Medineni sidirip
Çong Buqardı qidirip
- 90 It keçüiden kečem — deyt.
Beş terekten ötöm — deyt
Bejindegi Qongurbay
Barip uruş salam — deyt
Aq tengge puldu açam — deyt
Qalmaqtın malın çaçap — deyt.
Uzun bulaq aşam — deyt
Kebes bulaq tüşöm — deyt.
Şemey menen Qiziljar
Orto sunda qir keçüü
- 100 şondon keçip ağam — deyt.
Beş terekten ötöm — deyt
Qum bulungdu basam — deyt
Almatini aşam — deyt

- Eşikti menen Türgöndö
Engkeyip ötüp çığam – deyt
Qopluunu keçem – deyt
Tor ayğirdi aşam – deyt
Sarq qayqan basam – deyt
Temirdikti aşam – deyt
110 Medine çöldü sidirip
Uşu keng ileni qıdırıp
Çong buuranın boyunda
Altı künü jatam – deyt
At sergitip ötöm – deyt.
Keng ileni keme menen keçem – deyt
Keng Quljanı tegerene ötöm – deyt.
Qojonun şerin basam – deyt
Qorğoştan tuura ötöm – deyt
Oşu Manas balama
120 Qazan asıp, ot jağıp
Janına joldoş bolsongçu, Baqay.
Körbögönün körsötüp, Baqay.
Kötünön birge jürsöngcü, Baqay.
Bilbegenin bilgizip, Baqay.
Birge jortup jürsöngcü, Baqay.
Adam ata, obo ene
Tuuğan jerin bilcü edeng.
Ong jağına Oysul ata
Buqa etken, Baqay.
130 Sol jağına Qojo Qıdır
Duqa etken, Baqay
Baabedin başında, Baqay
Qojo Qıdır qaşında, Baqay
Uşu Manas balamdın, Baqay
Arbayıp adam bolğondo, Baqay
At jalın tartıp mingende, Baqay
Erbeyip adam bolğondo, Baqay
Eegine saqal çiqqanda, Baqay!
Minerine at tapçı, Baqay!

- 140 Kiyerine ton tapçı, Baqay.
At başınday qurandı, Baqay
Qoy başınday kitepti, Baqay
Qiyamat jolun tüşürüp, Baqay
Jilqi içinde bos bolçu, Baqay.
Manas menen qiyamattiq dos bolçu, Baqay》
Baydin balasi bu Baqay aytat:
《Maqul, bolot, qop, bolot, Jaqip
Attanali, jortolu, Jaqip
Busurman jolun ačali, Jaqip
150 Bejindin qolun basali, Jaqip
Quday berse čabali, Jaqip》
Butodoy közün jaynatqan
Şaqarday için qaynatqan
Jaqip uulu jaş Manas
Janggiz onğon er Manas
On jaşında oq atqan.
On törtönö čiqqanda
Ordo çayqan qan bolğon
Altımış ayğir jüz qunan
160 Aydap jedi qoqondon
Seksen baytal, ming qimqap
Jetkizip aldi Buqardan.
Qaşqardağı Qitaydi
Turpan aydap čığardi.
Turpandağı Qitaydi
Aqisi aydap tüşürdü.

§ 4 漢語訳

當葉底吐兒的時候
才平安的降生了破雲汗¹⁾
破雲汗的孩子—
生而靈異的喀拉汗，
喀拉汗的孩子—
生而靈異的雅庫伯汗

- 〔在崇加兒欲華山上，
在阿爾瑪忒河口²⁾，
呱呱墜地的雅庫伯汗〕
- 10 早就娶了阿以達汗的女兒芝娜芝³⁾
但雅庫伯汗却嘗說：
「自我娶了芝娜芝，
我就沒嘗到過孩子的親吻；
而芝娜芝又愛把長髮來梳理，
多不幸啊，安拉！⁴⁾
她從不看我一眼，
并且堅決的投入我的懷抱。
芝娜芝還沒有我生一個孩子，
而我娶了芝娜芝啊，
已經十四寒暑了！
- 20 她，祖塋也不去拜掃，
她，蘋果園也不去遊玩，
神聖的噴泉廟也不去過夜。
啊，安拉！ 假如您願以神力助我，
在芝娜芝的腹中，
降育了一個靈胎，
那我将熱烈的去擁抱她，
如果芝娜芝真為我生了一個孩子：
那我就給孩子以有銀釘的馬靴，天藍色的拖鞋，
使孩子能有諾意古提人的食量⁵⁾；
- 30 給孩子美麗的羽翎，灰色的綢緞，
使孩子能有浩罕人的食量⁶⁾，
給孩子肥壯的驢子，光輝的房子，
使孩子能有撒爾特人的食量⁷⁾，
給孩子寬大的袍子，鋒利的刺刀。
使孩子能有哥薩克人的食量⁸⁾
饑眼瞪着食物不放鬆，
乞討來食還不够，
更要孩子能有我們柯爾克孜人的好胃口，
給他胸前掛着長弓」
- 40 雅庫伯汗的可敦芝娜芝⁹⁾，
果然孕育了一個男孩，

現在真的看見孩子！
鮮嫩的皮膚像白綢，
堅硬的骨骼似黃銅，
白色的牝馬被宰殺了，
雅庫伯用來慶賀他孩子的誕生：
請來四個有道的阿訇¹⁰⁾，
賜孩子以瑪那斯的佳名，
50 四個阿訇仔細的相他，
懷疑他是聖人的後裔。
葉爾羌派來七個使者¹¹⁾，
吃酒醉飯飽的走了，
說瑪那斯將來定很英勇。
契丹遣來四十個使者¹²⁾，
也吃得酒醉飯飽的走來，
說瑪那斯將來會擾亂中華。
諾加意差來十個使者¹³⁾，
坐下來吃得肉後走了，
也說瑪那斯將來是非凡的人。
60 雅庫伯的可敦芝娜芝，
把瑪那斯放在彩陶燒的搖籃里，
為了要瑪那斯拜見大賢喀底兒¹⁴⁾，
所以把他帶到山麓海濱。
異教徒與回教徒群中，
於是紛紛盛傳着瑪那斯的聲名，
瑪那斯現在已能喊叫哪，
他躺在搖籃里說：
「我的白鬍子爸爸雅庫伯汗，
將來我要宏佈伊斯蘭，
70 異教徒我要驅逐，
（他們的力量我要分享）
回教徒的力量我要加強」
雅庫伯汗聽了這些話，
牽過一匹有籠頭的青色馬，
取來他的披掛：
滿佈麻雀眼孔的白戰袍，
那鍍了金鎧甲，

金色的領上帶着小銀環，
而金甲上啊，又鏤出銀花！
80 □後，
雅庫伯汗喊道：
「我的愛子巴喀依汗，
靠近我的身傍吧，
來聽我對你說話：
我的瑪那斯愛子，
我將騎着馬，漫遊到遙遠的地方，
到那些遙遠的地方去啊！
麥地那聖地去朝覲¹⁵⁾，
布哈刺大城去遊玩¹⁶⁾，
90 我將穿過伊提開尊¹⁷⁾，
我將路過別失塔里¹⁸⁾，
北京城里的皇帝¹⁹⁾，
我要向他挑戰，
搶奪他白色的金銀；
喀爾漢克人的財寶我要獲得²⁰⁾，
我要征服烏仲布拉克
我要討平開伯布瑪克，
色墨依與客罕勒亞兒²¹⁾——
中間的那塊荒地²²⁾，
100 我要把他佔據。
我借道別失塔里；
要去壓服庫門布龍，
要去削平阿爾馬忒²³⁾；
設敢擋住我的去路啊？
我就索性玩弄他而衝過去！
衝破封鎖我的關卡——
去侵略妥兒阿依葛兒，
去蹂躪撒里喀依干²⁴⁾，
去攻打帖墨兒里克²⁵⁾；
110 橫過麥地那沙漠，
漫遊在廣闊的伊犁河，
布良大河的岸旁²⁶⁾，
我將有六日的休養，

- 把我的馬群在那兒牧放；
划船渡過那廣闊的伊犁河，
再由寬大的庫爾查河折轉回²⁷⁾。
去拜訪火州名城²⁸⁾，
再從可爾果斯轉回²⁹⁾，
那時啊，我親愛的瑪那斯！
120 点燃了火，燒熟了飯，
巴喀依，你就是我的好伴旅啊！³⁰⁾
跟着我在一起，
我給你沒見過的东西，
跟着我奔跑，
我会告訴你不知道的事物。
『天將降福馬背人』³¹⁾
——這是故鄉的諺語啊！
巴喀依，向右方的阿依蘇爾巴巴禮拜，
130 向左方的火者喀底兒祈禱，
但願伯黑詩丁永在我們頭上，
但願火者喀底兒永在我們身傍。³²⁾
巴喀依，我的愛子瑪那斯啊！
当你能用眼鑑識人時，
当你能抓着鬚兒騎馬時，
当你多少有些經驗時，
当你腮下長出鬚鬚時，
騎上我給你的戰馬，
140 穿上我給你的盔甲，
巴喀依啊！馬頭般大的古蘭，
羊頭般大的經典，
你當勤勉的研習，
巴喀依啊！我給你一匹為你找來的『破土』馬，³⁴⁾
巴喀依啊！但願你我來世長交好！」
汗子巴喀依答道：
「雅庫伯父汗，我答允您我会成功，
我騎着馬就去征討，
我願為回教而犧牲，
150 我還要控制着到北京的通路，
假如安拉允許我搶奪！」

像駱駝兒似的，他眼中閃着淚光，
像「把他斯」般的在翻滾³⁵⁾。
雅庫伯的愛子——年輕的瑪那斯，
隻身入世的大夫瑪那斯：
十歲就能開弓啦！
剛過十四歲的時候，
就在汗帳前的樂聲中即了汗位，
六十名駒百壯馬，
160 是搶自啊浩罕的！
八十驕驢百匹緞，
是搶自啊布哈刺！
克什噶兒的契丹人³⁶⁾，
嚇得逃奔到吐魯番；³⁷⁾
而吐魯番的契丹人啊，
却又流亡到阿克蘇去了！³⁸⁾

§ 5 日本語訳

イエディ・トルの頃
無事にボヨン汗が生まれた
ボヨン汗の子どもが
生まれて不思議なカラ汗となり
カラ汗の子どもが
生まれて不思議なジャクップ汗となった
チュンガルコバの山で
アルマティの河口で
おぎゃあと生まれたジャクップ汗
10 とくにアイダル汗の娘チルチィを娶ったが
けれどもジャクップ汗はこう言った
「わしがチルチィを娶ってから
子どもに頬ずりしたことなく
チルチィも長髪に手をいれず
アッラー，なんと不幸なことよ
彼女はわしを一目でも見ようとせず
決してわしに抱かれようともしない
チルチィはわしの子どもも産まない

- わしがチルチィを娶ってから
もう十四度も年を過ごした
- 20 彼女は先祖代々の墓地にも詣らず
りんご園にも遊びに行かない
神聖な噴水に行って夜を明かさない
ああ、アッラーよ、そのお力でわしを助けてください
チルチィの腹の中に
子どもを授けてくださるなら
わしは心をこめて彼女を抱こう
もしもチルチィがわしの子を産んだなら
子どもに銀の釘を打った乗馬靴，青色のサンダルを与え
子どもにノイグト人の食事の量を与えよう
- 30 子どもに美しい羽飾り，灰色の緞子を与え
子どもにコーカンド人の食事の量を食べさせよう
子どもに肥えた驢馬と輝く家を与え
サルト人の食事の量を食べさせよう
子どもにだぶだぶの上着，鋭利な刀を与え
カザック人の食事の量を与えよう
卑しい眼が食物を見つめて放さず
食べ物を求めても足りない
わしらキルギス人のよい胃袋を与えて
その胸に弓を掛けてやろう」
- 40 ジャックアップ汗の夫人チルチィは
果たして男の子を身ごもった
今では本当に男の子を眼にした
柔らかな肌は白い絹みたいで
硬い骨は真鍮のようだ
白い色の雌馬を屠殺して
ジャックアップ汗は子どもの誕生を祝った
四人の徳高いアホンを招き
子どもにマナスという美名を賜った
四人のアホンはよくよく彼を見つめて
- 50 聖人の後裔かと思った
ヤルカンドから七人の死者が遣わされ
ご馳走を食べてから立ち去った
マナスは将来きっと英雄になると言った

契丹が四十人の使者を遣わして
ご馳走を食べてから立ち去った
マナスは将来きっと中華を騒がすと言った
ノガイ人は十人の使者を遣わして
腰を下ろして肉を食べてから立ち去った
マナスは将来きっと非凡な人になると言った
60 ジャックアップの夫人チルチィは
マナスを陶器の揺りかごに寝かせから
聖人カディルに見てもらうため
彼を山のふもとや浜辺に連れて行った
異教徒と回教徒の中で
マナスの名がつぎつぎと伝えられ
今ではマナスはもう叫ぶようになった
彼は揺りかごの中でこう言った
「我が父白鬚のジャックアップ汗
将来イスラムの教えを広め
70 異教徒を私は追い払おう
やつらの財産を分け与え
回教徒の力を強めよう」
ジャックアップ汗はこの言葉を聞いて
おもがいのある青色の馬を引いて来て
その鎧や兜を取った
雀の眼を飾った白い軍服
金メッキした鎧
金色の襟に小さな銀の輪をつけ
金の兜に銀の飾りを彫っている
80 後に
ジャックアップ汗は大声で叫んだ
「我が愛息子バカイ汗よ
わしの側に近づき
わしの言うことを聞け
我が愛児マナスよ
わしは馬に跨って、遠方まで漫遊し
あおの遠いところまでぶらつき
聖地メディナへ巡礼に行く
大城ブハラへ遊びに行き

- 90 イト・ケチェンを通りすぎて
ベス・テレクを通りすぎて
北京城の皇帝に
わしは挑戦して
その白い金銀を奪ってやろう
カルマック人の財宝を手に入れ
ウズンブラックを征服し
ケベスブラック討伐しよう
シェメイとキジルジャル
その中間の荒地
- 100 わしはそこを占領しよう
わしはベス・テレクを通して
クムブルンを制圧し
アルマティを平定しよう
わしの行く手を遮ろうとするなら
いっそそいつをもてあそんでやろう
わしを封鎖する関所を突破して
トル・アイギを侵略し
サルク・カイカンを踏みにじり
テミルディクを攻撃しよう
- 110 メディナの沙漠を横切り
広々としたイリ河と
ブグラ大河の岸辺をぶらっこう
六日のあいだ休養して
わしの馬の群れをそこで放牧しよう
船を漕いで広々としたイリ河を渡って
また広大なクルチャ河で引き返そう
名城コジョを訪れ
コルゴシから戻って来よう
その時、わが愛するマナスよ
- 120 火を点けて飯を炊け
バカイよ、おまえこそ我がよき仲間
わしと一緒に来れば
おまえが見たことのない物を示そう
わしに付き添って疾走すれば
おまえの知らないことを教えよう

【翻訳】最初の漢語訳断片「マナスの誕生」

- 「天は馬の背にある人に福を授ける」
これが我が故郷の諺なのだ
バカイよ、右の方のオイスル・ババに礼拝し
130 左の方のホジャ・カディルに祈れ
願わくばベハズドディンが永らく頭上にあらんことを
願わくばホジャ・カディルが永らく我が側にあらんことを
バカイよ、わが愛児マナスよ
おまえがその眼で人を見分ける時
おまえが鬣をつかんで馬に乗る時
おまえがかなりの経験を積んだ時
おまえのあごに鬣が生えている時
わしが与えた軍馬に跨って
140 わしが与えた鎧をつけよ
バカイよ、馬の頭ほど大きなコーラン
羊の頭ほど大きな経典を
おまえはひたすら習わねばならぬ
バカイよ、おまえに探して来た「灰色」の馬を与え
互いに来世まで永らく交わろう」
汗の子バカイは答えた
「父のジャクupp汗、私はきっと成功するでしょう
馬に跨って征討に行き
願わくば回教徒のため犠牲となりましょう
150 さらに北京までの通路を制圧し
もしもアッラーが私に奪うの許されんことを」
駱駝のようにその眼には涙が光り
「パタス」のように転がっていた
ジャクupp汗の愛児マナス——若いマナス
単身で社会に現れたマナス
十歳で弓を引くことができ
十四歳を過ぎた頃には
汗のテントの前で位についた
六十頭の名馬と百頭の丈夫な馬は
160 コーカンドから奪った物
八十頭の名馬と百匹の緞子は
ブハラから奪った物
カシュガルの契丹人は

驚かされてトルファンまで逃げ
トルファンの契丹人は
アクスまで逃げて行った

§ 6 原注

- 1) 葉底吐兒 イェディ・トル キルギス族の故地は、今のイェニセ河流域一帯にあった。10世紀以後、しだいに中央アジアに移動した。イェディ・トルは、中央アジアに移動した後には建てられた国の始祖のようにある。汗は、テュルク語で君主を言う。
- 2) 崇加兒欲華 チュンジャルユヴァ 山の名。阿爾瑪忒 アルマティ 河の名。その他は詳らかでない。
- 3) アイダル汗は、別の部落の君主。この部落の名は分からない。
- 4) 安拉 アッラー 真主。回教徒の上帝に対する尊称。
- 5) 諾意古提人 ノイゴイト人 当時の中央アジアにおける突厥族の一部落。
- 6) 浩罕 コーカンド 今日の中央アジアの Khokand, 明清時代にかけて強大な霍罕国を建てた。
- 7) 撒爾特人 サルト人 中央アジアのテュルク系遊牧民族。フェルガーナとシル河の地域で生息していた。撒爾特という文字は数世紀のあいだ、かつて各種民族の階層と人民団体に使われ、その意味は多くて変化していた。11世紀には突厥人は商人の意に用い、12世紀にはイラン民族全体を称し、15世紀にはペルシャ人を称していた。16世紀には征服されたトルキスタンの土着民を称してその起源は問題としなかったが、モンゴル人は13世紀にはカレーズを採用した農民を称し、15世紀にはタジク (Tadzhik) 人を称した。一部の学者はサルトを失われた種族及び部落のテュルク (突厥) 族と考えているが、この叙事詩の言うサルト人は第一の説が正しい。
- 8) 哥薩克 カザック 中央アジアのテュルク系の遊牧民族。『唐書』で言う可薩部であり、乗馬と弓矢に巧みなことで知られ、ロシアの騎兵中の精鋭部隊である。
- 9) 可敦 テュルク語で可汗の妻を言う。『唐書』(巻215) 突厥伝で「突厥は吐門よりしだいに強大となり、単于のような可汗と号し、その妻は可敦と云った」と述べている。この字に合わせたものであり、また恪尊(『魏書』吐谷渾伝)、可賀敦(『旧唐書』突厥伝)、可孫(『南齊書』魏虜伝)とある。
- 10) 阿訇 アホン キルギス語原文は hocce。回教の道長者の尊称で、今は阿訇と訳す。教長の意味である。
- 11) 葉爾羌 ヤルカンド 新疆南部にあり、今は県となっている。その地は『前後漢書』の莎車国であり、『魏略』『魏書』の渠搜国であり、元代に初めて葉爾羌の名が見られるが、『元史』では鴨兒看、押兒牽などとしている。『明史』では牙兒干とし、今『欽定西域図誌』に従って葉爾羌とした。
- 12) 契丹 キタイ 中国。契丹は11世紀に漠北で起り、その時に宋朝は衰微し国威が振るわず、西域諸国は東方では契丹だけしか知らないため、誤って中国を契丹と称した。明の万暦年間に、鄂本篤が訪中して初めてその誤りを知った。今日まで、ロシア人及び中央アジアの若干の部落は契丹を中国と称している。しかし、当時の中国が使者を派遣したかどうかは、文献からは分からない。訳者は詩人の誇張か、それとも中央アジアの華僑が騙ったものとも考える。
- 13) 老尕夷 チンギスハンが征西した時の遺族。回教に改宗したために、モンゴル人は罵って老尕夷と言った。モンゴル語で犬の意味である。ただし、ロシア人はこれを韃靼と呼んでいる。(呉靄振『新疆遊記』113頁)
- 14) 喀底兒 カディル キルギス族が崇拝する神霊であるため、下文で「マナスを山麓や海辺に連れて行く」と言っている。おそらくこの神霊が至るところでそのご加護を求めるのであろう。
- 15) 麦地那 メディナ メッカの北にあり、マホメッドの墓がここにあり、回教徒の聖地である。

【翻訳】最初の漢語訳断片「マナスの誕生」

- 16) 布哈拉 ブハラ サマルカンドの西にあり、ウズベック連邦共和国に属し、また回教徒の聖地である。その地は、『隋書』と『唐書』の二書の安国であり、『元史』では不花刺、不花児、ト哈兒、『明史』ではト花児となっている。
- 17) 伊提開尊 未詳。
- 18) 別失塔里 おそらく『元史』の別失八里か。回語では、五を別失と言ひ、城を八里と言ひ、五城のことか。ここで塔としているのは八の誤りではないか。ウイグル文字の ta と ba を間違えたと思われる。
- 19) 皇帝 キルギス語では Kongru Bay, トルコ語では Konur Bay, Kongru としている。おそらく唐家子或いは桃花石の音訳だろうか。この二語は西域人が中国人を称する俗語である(『長春真人西遊記』を参照)。Bay は、領袖、君主の意、合わせてこれを言うとき、中国の領袖の意味となる。だから皇帝の二語で訳した。トルコ語の訳語はその音訳が見つからず、おそらく誤りであろう。
- 20) 喀爾漢克 カルマック 清代の厄魯特で、衛拉特四部があり、新疆北部と中央アジア一帯に分布し、16世紀に最も強大となり、キルギス人と争いを起こした。
- 21) 烏伸布拉克 ウズンブラック おそらく烏孜別克 (Uzbek) であろうか、証拠はない。開伯思布拉克、色墨依及び客窄爾亜兒は、何を指すか不明。
- 22) 荒地、キルギス語原文 Kirgeçit. kir は荒原、geçit は橋梁の意。合わせてこれを荒地或いは沙漠と解した。ただしこれを一国であるのか、なお不明。今かりに荒地と訳した。
- 23) 庫門布龍 不明。阿爾瑪忒、おそらく今の中央アジアの阿刺木図 (Alamuty) (すなわち Veny) であろうか、イリ河岸にある。さもなければ元代の阿力麻里か、今のイリの西にあり、いずれがふさわしいだろうか。
- 24) 妥兒依鬲兒、撒拉喀依干、いずれも不明。ただし、撒拉はテュルク語で黄色の意味で、黄喀依干とも訳せる。
- 25) 帖木兒里克 元の後裔ティムールが建てた帝国。ただし、当時ティムールが死ぬと、その国は分裂し、或いはこれはその中の一つを指したものか。
- 26) 伊犁河 イリ河 今日の伊犁河。布良河、不明。
- 27) 庫勒差河、『明史』では錫爾河を火站河と訳して音は近い。
- 28) 火州 今のトルファンから東70里にある哈刺和卓がその故地。元では火州と言ひ、明もこれによっている。論者は多くこれを高昌の訳音としている。
- 29) 可爾古思 現在のイリ付近の霍爾果斯。
- 30) 巴喀依 マナスの正式な汗名。
- 31) この文の意味は、直訳すると「人は馬上で空気を吸う」となり分かりにくいので、今改訳したが、適当であろうか？
- 32) 阿蘇爾巴巴 キルギス人の崇拜する神霊或いは祖先。火者喀底兒 注12及び16を参照。伯黒詩丁 キルギス人の崇拜する神。
- 33) 古蘭 コーラン 回教の聖典。
- 34) 破士 馬の名前。
- 35) 把他斯 何物か不明。
- 36) 克什噶爾 カシュガル 漢代と唐代の疏勒国、『元史』では合失合兒と記し、今の旧城に疏附県を設け、新城に疏勒県を設けている。
- 37) 吐魯番 トルファン 昔の高昌国の地。『明史』では吐爾番と記し、今の新疆吐魯番県。
- 38) 阿克蘇 アクス 今の新疆南部の温宿県。漢代では姑墨県、唐代では姑墨州。